チャレンジデー2011
スポーツの力で日本を元気に！

～人の輪　心の和　体の健康　心の健康～

ブラウブリッツ秋田の選手たちもペタンクに挑戦（大竹農村公園）

5月25日、チャレンジデー2011が市内全域で開催されました。チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で開催されているスポーツイベントです。

今年は、旧金浦町の時から数えると10回目の参加で、節目の大会となりました。通常は、規模の同じ自治体同士の対戦形式ですが、今回は、東日本大震災の影響により対戦形式をとらず行われました。にかほ市では、震災で被災した、昨年の対戦相手「岩手県大槌町に元気を届けよう！」というテーマで開催しました。

当日は好天に恵まれ、たくさんの市民の皆さんの協力もあり、昨年の参加率を上回ることができました。各会場のイベントは、ブラウブリッツ秋田の選手の皆さんや、スギッチも参加し、終日大いに盛り上がりました。

また、象潟体育館で行われたメインイベントでは、大槌町に元気を届けようと、約100人の参加者で「絆」という人文字をつくりました。

チャレンジデー実行委員会は、収録したビデオレターと、支援金、Tシャツ販売の収益金、募金等で、大槌町が希望するスポーツ用具をお届けしました。

チャレンジデーの参加率の推移

参加年度	参加者	市の人口（2月1日現在）	参加率
平成23年度	11,108人	28,053人	39.6％
平成22年度	11,238人	28,457人	39.5％
平成21年度	11,131人	28,799人	38.7％
平成20年度	9,968人	29,003人	34.4％

※にかほ市で15分以上運動された方の参加率です

※スポーツ振興課によるTシャツの販売収益金ならびに支援金、募金受付については5月25日をもって終了しました。たくさんのご支援ありがとうございました。

チャレンジデー2011 岩手県大槌町支援金等一覧
（4月20日～5月25日受付）

支援金（一口 1,000円）	79,000円
Tシャツ販売収益金	141,200円（@400円×353枚分）
窓口募金額	11,800円

みんなでダンス（象潟体育館）

▷早朝ウオーキング（小出小学校）

△園児とともに玉入れ運動

色別対抗綱引き▽

多くの自治会や老人クラブで、体操やウオーキングが行われ、学校や幼稚・保育園では、イベントを開催。

15分でみんな参加者です！

イベントスタッフに参加して

体育指導委員　佐藤耕一さん（田抓）

チャレンジデー2011に運営スタッフとして初めて参加しました。

早朝は、仁賀保庁舎でのラジオ体操。午後は象潟体育館での各種スポーツ（吹矢、フラインングデスク、スマイルボーリングなど）。夜のメインイベントは、多くの親子連れなどが参加してくれました。ブラウブリッツ秋田の4選手と体で表現するグーチョキパー（ジャンケン）対戦。大縄跳びのロープジャンプ（即席チームのため揃い出すまで一苦労）。参加者全員による人文字作成では被災地「大槌町」に元気をと「絆」に挑戦。「飴まき」でフィナーレ。どの場面にも勇気を得られるものでした。プロ選手のサービス精神、チアガールの華麗なる妙技には絶句でした。

健康の維持・増進が主目的の全国規模の「チャレンジデー」が、多くの市民に理解され定着する事を願っております。

メインイベントの企画立案では、奇抜なアイディアがたくさん出て感心させられました。反面、事前に数が読めない状況での準備、より良いサービスの方法とは何なのかを再考させられた一日でもありました。

チャレンジデーをきっかけに、競技スポーツばかりではなく、国民一人ひとりが楽しめて、継続可能な軽スポーツを、ライフスタイルに取り込む新たなチャンスにできればと期待しております。来年も再会しましょう。

ボランティアスタッフ　50代女性

「健康」「ダイエット」の文字には、すぐ目を留めてしまう日頃の習慣。しかし、身体を動かすとなると、一歩踏み出せないでいた自分。奮起して今年は、ボランティアとして参加してみました。

当日の体育館の中では、子どもたちのダンス、体操、大縄とび、卓球、バレーボール等でハツラツとした動きと元気な笑い声が響いていました。私はワンテンポ遅れがちになりながらも、久しぶりに体を動かして気分がスッキリ。

「わずか15分間の健康スマイル」。今日から続けながら、身近かになった「チャレンジデー」に来年も参加したいと思います。

”チャレンジクイズ“当選者

にかほ市の参加人数を当てるクイズ。残念ながら的中した方はいませんでしたが、回答が近い稲葉松五郎さん（下坂）他15名に、賞品として香川県多度津町と埼玉県小鹿野町の特産品が贈られました。（讃岐うどん、コンニャクの詰め合せ等）

事業所では、クリーンアップ・ウオーキングの姿が多く見られました